

2017年5月22日 全7頁

Indicators Update

2017年4月貿易統計

3ヶ月連続の貿易黒字

経済調査部
エコノミスト 前田 和馬
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2017年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+7.5%と、5ヶ月連続で前年を上回ったものの、市場コンセンサス（同+8.0%）を下回った。前年比で見た輸出数量のプラス幅は縮小（3月：同+6.6%→4月：同+4.1%）したことに加えて、輸出価格のプラス幅も前月から縮小（3月：同+5.0%→4月：同+3.2%）した。また、4月の税関長公示レートは110.92円/ドルと、前年比で見ると0.3%の円高水準にある。
- 季節調整値で見た輸出金額は前月比▲0.2%、輸出数量は同▲1.7%（季節調整値は大和総研による）とともに2ヶ月連続の減少となった。輸出数量を地域別に見ると、米国向けが同+3.1%、EU向けが同+2.1%と2ヶ月ぶりに増加した一方、アジア向けは同▲1.0%と2ヶ月連続で減少した。
- 先行きの輸出については、海外経済が底堅い成長を続けるなか、引き続き緩やかな増加基調をたどるとみている。ただし、外需に関しては下振れリスクに警戒が必要である。特に、トランプ米大統領が保護貿易主義的な政策を推し進めた場合、世界の貿易を停滞させる可能性があり、中長期的なリスク要因になると考えられる。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2016年					2017年				4月
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
輸出金額	▲9.6	▲6.9	▲10.3	▲0.4	5.4	1.3	11.3	12.0	7.5	
コンセンサス									8.0	
DIR予想									6.5	
輸入金額	▲17.0	▲16.1	▲16.3	▲8.7	▲2.5	8.4	1.3	15.8	15.1	
輸出数量	0.8	4.7	▲1.4	7.4	8.4	▲0.3	8.3	6.6	4.1	
価格	▲10.3	▲11.1	▲9.0	▲7.3	▲2.7	1.6	2.8	5.0	3.2	
輸入数量	3.8	▲1.6	▲2.5	3.6	3.6	6.3	▲4.3	4.2	5.0	
価格	▲20.1	▲14.8	▲14.1	▲11.9	▲5.9	2.0	5.8	11.2	9.7	
貿易収支	▲346	4,866	4,812	1,465	6,359	▲10,919	8,111	6,140	4,817	

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

貿易収支は3ヶ月連続の黒字

2017年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+7.5%と、5ヶ月連続で前年を上回ったものの、市場コンセンサス（同+8.0%）を下回った。前年比で見た輸出数量のプラス幅は縮小（3月：同+6.6%→4月：同+4.1%）したことに加えて、輸出価格のプラス幅も前月から縮小（3月：同+5.0%→4月：同+3.2%）した。また、4月の税関長公示レートは110.92円/ドルと、前年比で見ると0.3%の円高水準にある。

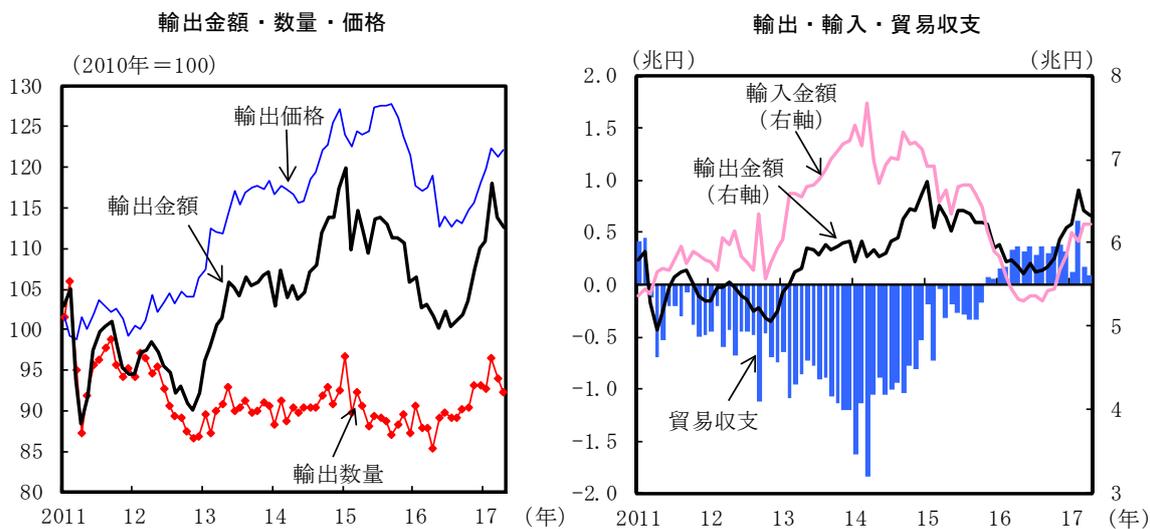
一方、輸入金額は前年比+15.1%と4ヶ月連続で前年を上回った。輸入金額を価格要因と数量要因に分けてみると、輸入価格は同+9.7%、輸入数量は同+5.0%であった。この結果、貿易収支は4,817億円と3ヶ月連続の黒字となった。

米国・EU向けの輸出数量は増加、アジア向けは減少

季節調整値で見た輸出金額は前月比▲0.2%、輸出数量は同▲1.7%（季節調整値は大和総研による）とともに2ヶ月連続の減少となった。

輸出数量を地域別に見ると、米国向けが前月比+3.1%、EU向けが同+2.1%と2ヶ月ぶりに増加した一方、アジア向けは同▲1.0%と2ヶ月連続で減少した。米国向けでは非鉄金属や電算機類が増加したことに加えて、一服感の見られていた乗用車や二輪自動車も増加し全体を押し上げた。EU向けでは、堅調に推移していた乗用車や自動車部品等に一服感が見られたものの、非鉄金属や電算機類が増加した。また、アジア向けでは、ICの輸出数量の増勢に一服感が見られたことが、全体を押し下げた。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸入金額は2ヶ月ぶりに減少

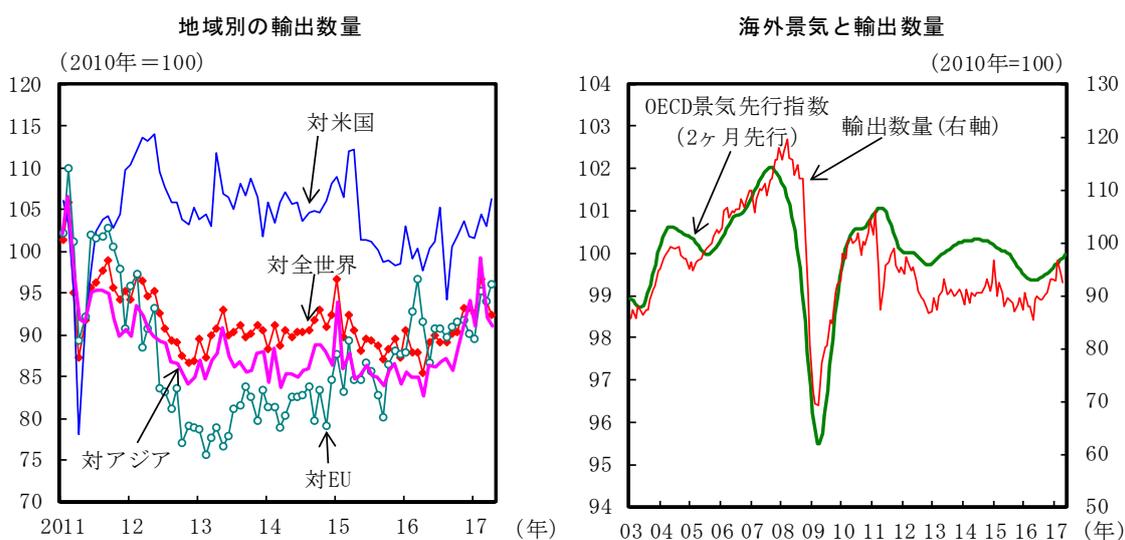
季節調整値で見た輸入金額は前月比▲0.1%、輸入数量は同▲1.0%（季節調整値は大和総研による）といずれも2ヶ月ぶりの減少となった。一方、輸入価格については同+1.1%と2ヶ月ぶりの増加となった。

先行きは緩やかな増加基調が続くと見込むが、トランプリスクに注意したい

先行きの輸出について、海外経済が底堅い成長を続けるなか、引き続き緩やかな増加基調をたどるとみている。米国向け輸出は一進一退で推移しているものの、欧州やアジア向けの輸出は引き続き底堅く推移しよう。欧州では失業者数の減少と可処分所得の上昇から雇用・所得環境は良好な状態にあり、これに伴う消費者マインドの改善が消費財輸出を押し上げるだろう。また、アジアにおいては、特に中国向けの建機等で堅調な受注状況が維持される見込みである。

ただし、外需に関しては下振れリスクに警戒が必要である。米国では、Fedが2017年3月に利上げを実施し、2017年に複数回の利上げが実施される可能性がある。1-3月期の米国の個人消費の拡大ペースが軟調であったことや、トランプ政権における政策遂行能力への疑念など、米国経済の下振れリスクが表れている点は気がかりだ。また、トランプ大統領が保護貿易主義的な政策を推し進めた場合、世界の貿易を停滞させる可能性があり、中長期的なリスク要因になると考えられる。他方、緊迫する北朝鮮情勢を背景とした地政学的リスクの高まりにも警戒が必要であろう。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



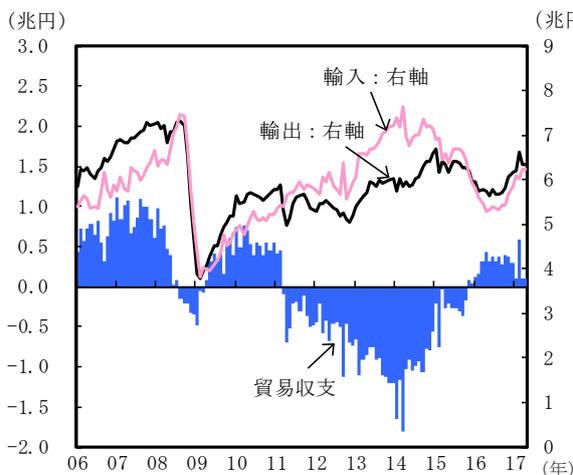
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

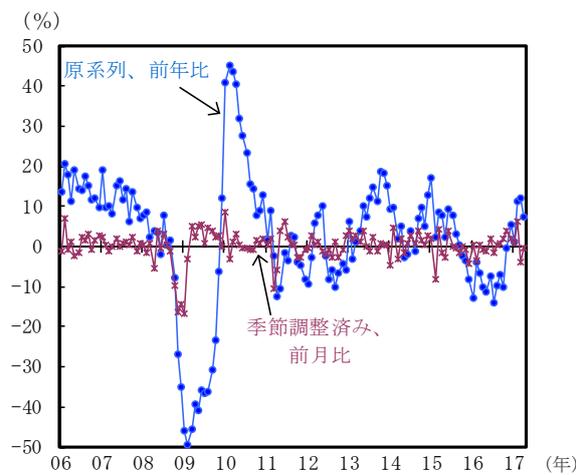
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

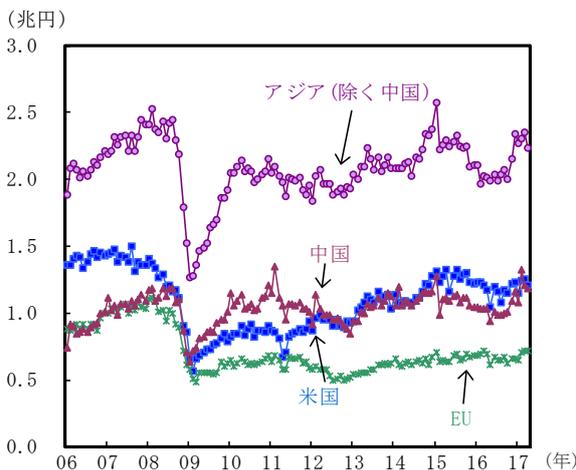


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

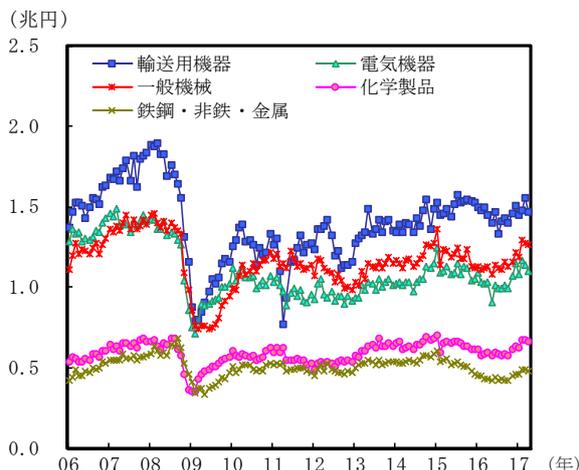


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

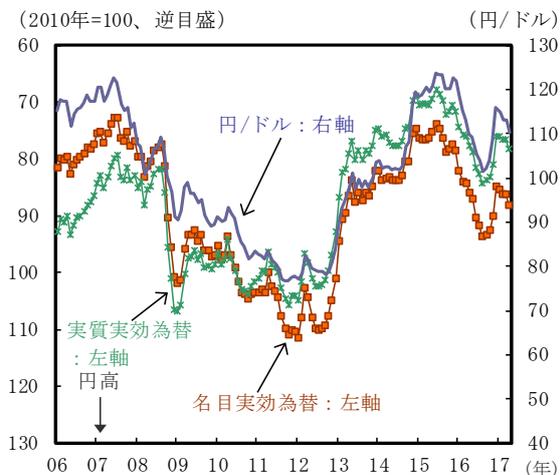


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

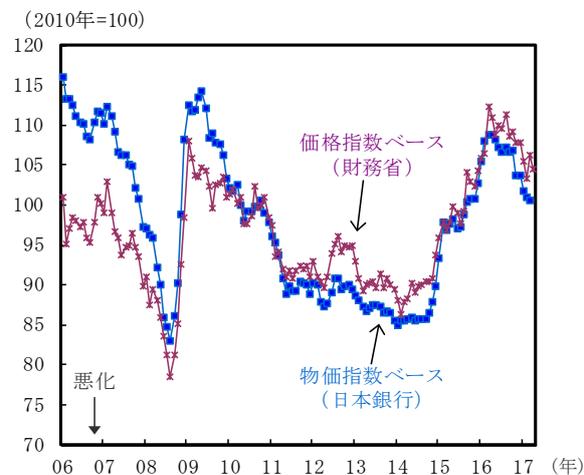


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03	2017/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.4	5.4	1.3	11.3	12.0	7.5	100.0	7.5
食料品	3.4	5.1	▲15.6	21.5	13.9	▲2.6	0.8	▲0.0
原料品	▲2.4	12.4	15.3	29.5	24.1	4.8	1.5	0.1
鉱物性燃料	▲19.7	18.0	52.6	25.9	33.7	▲9.3	1.0	▲0.1
化学製品	0.5	4.0	1.5	16.4	14.2	10.8	10.9	1.1
原料別製品	▲6.4	▲1.1	▲0.8	6.8	10.5	7.1	11.2	0.8
鉄鋼	▲12.1	▲4.8	8.1	11.5	15.6	18.1	4.1	0.7
非鉄金属	5.8	13.3	▲1.2	10.4	17.5	7.7	1.8	0.1
金属製品	▲1.9	▲0.7	▲7.4	2.6	4.8	▲0.1	1.6	▲0.0
一般機械	2.9	8.9	5.3	16.6	14.0	11.3	20.4	2.2
電気機器	3.2	9.2	▲1.1	13.5	10.9	6.7	17.5	1.2
半導体等電子部品	6.5	14.8	3.2	16.8	7.6	11.1	5.2	0.6
I C	10.0	22.5	8.5	23.1	10.0	15.1	3.5	0.5
映像記録・再生機器	▲3.2	21.1	1.5	15.0	▲1.4	6.5	0.6	0.0
音響・映像機器の部分品	▲2.0	27.1	▲10.9	21.2	8.0	▲7.1	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	9.6	18.0	8.7	22.4	23.0	14.0	2.7	0.4
輸送用機器	▲4.6	▲0.6	▲3.5	▲0.2	4.1	1.3	23.1	0.3
自動車	▲8.5	▲4.7	▲6.7	0.5	1.3	1.8	14.7	0.3
自動車の部分品	10.4	16.5	12.5	21.8	21.2	10.2	5.3	0.5
その他	5.4	11.7	5.1	19.2	22.1	14.4	13.6	1.8
科学光学機器	▲6.6	2.7	3.5	23.4	25.6	17.2	3.1	0.5

米国向け輸出金額 内訳								
	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03	2017/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.8	1.4	▲6.6	0.4	3.5	2.6	100.0	2.6
食料品	6.4	5.4	▲1.3	9.0	0.2	▲4.9	0.6	▲0.0
原料品	▲24.4	8.0	▲9.1	▲0.5	21.4	▲7.3	0.6	▲0.0
鉱物性燃料	46.6	155.4	580.5	127.8	259.5	▲15.2	0.2	▲0.0
化学製品	▲12.4	▲1.3	▲3.7	▲3.8	3.2	▲5.5	5.8	▲0.3
原料別製品	▲12.1	▲8.9	▲9.1	1.3	9.8	2.3	6.5	0.1
鉄鋼	▲36.6	▲27.3	▲10.9	8.9	23.4	8.8	1.3	0.1
非鉄金属	1.0	8.1	5.7	28.5	40.9	13.6	0.6	0.1
金属製品	7.4	8.0	▲6.7	▲6.9	▲0.8	0.6	1.7	0.0
一般機械	▲5.2	▲2.0	▲4.0	2.6	8.1	6.8	23.2	1.5
電気機器	▲2.2	▲1.0	▲7.8	▲1.8	5.9	0.9	14.2	0.1
半導体等電子部品	▲12.5	▲12.6	▲19.4	▲4.8	4.7	▲7.4	1.7	▲0.1
I C	▲2.7	▲6.9	▲13.8	▲3.6	6.4	▲11.8	0.8	▲0.1
映像記録・再生機器	▲21.8	28.3	▲3.5	▲15.0	▲7.4	▲15.7	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲3.3	27.5	▲8.2	29.0	203.3	37.6	0.3	0.1
電気回路等の機器	2.5	▲1.6	▲9.0	5.1	14.5	5.6	1.6	0.1
輸送用機器	6.1	7.7	▲8.4	1.5	▲0.9	2.7	39.1	1.0
自動車	10.0	9.7	▲10.1	1.1	▲3.8	4.1	28.7	1.2
自動車の部分品	9.4	22.8	2.9	22.5	24.2	13.0	6.9	0.8
その他	▲16.1	▲7.6	▲5.6	▲6.5	2.0	2.9	9.8	0.3
科学光学機器	▲12.9	9.3	▲4.1	0.2	15.3	10.1	2.3	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03	2017/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.2	▲4.0	▲5.6	3.3	1.4	2.2	100.0	2.2
食料品	▲29.0	6.8	0.6	20.2	30.3	▲22.8	0.3	▲0.1
原料品	▲2.6	▲8.2	▲10.3	8.7	3.5	7.7	1.0	0.1
鉱物性燃料	379.4	15.8	679.9	▲43.1	62.5	86.2	0.3	0.1
化学製品	▲6.5	▲8.6	▲5.2	5.1	5.8	3.4	8.9	0.3
原料別製品	▲25.2	▲17.5	▲19.8	▲6.8	6.3	▲10.7	6.2	▲0.8
鉄鋼	▲67.0	▲57.4	▲54.1	▲29.9	▲2.9	▲23.8	0.7	▲0.2
非鉄金属	▲24.8	▲16.7	11.4	2.3	19.6	12.3	0.8	0.1
金属製品	▲18.1	▲5.5	▲10.9	0.3	10.5	▲15.3	1.3	▲0.2
一般機械	▲9.0	8.4	0.1	9.8	7.1	5.3	25.0	1.3
電気機器	▲2.2	▲4.4	▲4.8	1.7	3.7	▲1.7	17.6	▲0.3
半導体等電子部品	▲8.2	▲3.0	▲13.4	▲3.7	4.2	1.2	2.4	0.0
I C	▲14.0	7.5	▲11.8	▲7.8	7.0	3.0	1.3	0.0
映像記録・再生機器	▲21.6	▲0.1	7.2	11.6	▲9.4	21.1	0.9	0.2
音響・映像機器の部分品	12.1	▲47.8	▲61.0	▲54.3	▲41.6	▲57.8	0.2	▲0.2
電気回路等の機器	▲6.9	▲7.4	▲3.7	4.4	7.5	3.1	1.9	0.1
輸送用機器	2.6	▲7.0	▲8.8	▲3.9	▲2.7	5.6	26.3	1.4
自動車	▲13.8	▲18.2	▲12.2	▲7.3	22.3	▲0.0	14.2	▲0.0
自動車の部分品	10.2	11.3	8.3	15.4	14.0	▲0.5	6.0	▲0.0
その他	13.3	▲7.4	▲4.2	9.9	▲6.2	0.9	14.4	0.1
科学光学機器	▲6.3	▲6.4	▲7.1	1.9	11.0	▲5.5	3.1	▲0.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03	2017/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.4	12.0	6.0	21.0	16.3	12.2	100.0	12.2
食料品	5.3	3.2	▲22.9	22.3	13.3	▲3.9	1.0	▲0.0
原料品	1.4	20.6	22.8	35.0	30.0	8.6	2.2	0.2
鉱物性燃料	▲41.8	11.0	24.8	25.0	38.7	▲15.1	1.1	▲0.2
化学製品	4.1	7.3	4.6	22.1	18.5	14.2	15.2	2.1
原料別製品	▲2.2	2.1	3.2	12.9	12.2	9.5	14.0	1.4
鉄鋼	▲6.5	0.5	15.7	20.2	17.6	18.7	5.6	1.0
非鉄金属	7.4	15.4	▲3.2	11.9	16.8	8.2	2.8	0.2
金属製品	0.7	▲4.2	▲5.4	4.7	5.6	1.4	1.7	0.0
一般機械	8.0	17.2	11.0	28.7	20.2	16.5	20.0	3.2
電気機器	5.2	15.7	1.2	21.2	13.7	10.8	21.6	2.4
半導体等電子部品	9.5	19.1	6.6	21.0	8.6	13.5	8.3	1.1
I C	12.3	25.4	11.1	27.4	10.4	17.6	5.8	1.0
映像記録・再生機器	16.2	27.3	▲2.7	35.3	5.5	16.9	0.5	0.1
音響・映像機器の部分品	▲3.7	60.0	▲3.9	39.0	1.5	11.5	0.5	0.1
電気回路等の機器	14.7	25.7	11.8	29.7	29.1	18.1	3.7	0.6
輸送用機器	5.8	11.8	10.4	8.2	8.0	15.0	9.7	1.4
自動車	▲5.0	1.2	▲4.0	1.9	▲8.7	9.3	4.3	0.4
自動車の部分品	13.9	17.4	17.5	23.6	19.1	10.8	4.1	0.5
その他	4.2	14.3	6.7	23.2	18.5	12.2	15.1	1.8
科学光学機器	▲6.1	3.1	10.4	35.0	29.3	24.2	4.1	0.9

中国向け輸出金額 内訳								
	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02	2017/03	2017/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.4	12.4	3.1	28.2	16.4	14.8	100.0	14.8
食料品	28.1	11.6	▲17.2	90.2	56.9	16.4	0.5	0.1
原料品	7.1	30.3	19.4	40.1	41.2	6.4	3.0	0.2
鉱物性燃料	4.8	101.5	68.1	16.1	6.2	101.4	1.0	0.6
化学製品	9.2	13.4	2.5	33.9	16.9	16.7	15.9	2.6
原料別製品	2.9	6.7	▲8.0	11.1	9.1	10.7	11.8	1.3
鉄鋼	▲7.9	2.8	3.7	25.0	14.4	22.9	4.0	0.9
非鉄金属	23.6	37.3	▲22.5	▲13.7	1.5	17.0	2.2	0.4
金属製品	5.6	▲6.1	▲3.6	13.8	6.9	▲2.3	1.7	▲0.0
一般機械	14.8	13.8	10.1	33.1	14.1	15.6	21.4	3.3
電気機器	1.1	15.5	▲3.6	26.5	16.6	7.4	21.9	1.7
半導体等電子部品	▲1.4	10.1	0.4	22.6	8.8	7.2	6.8	0.5
I C	▲4.7	10.1	1.9	22.4	8.1	4.8	4.7	0.2
映像記録・再生機器	48.8	45.8	▲23.7	26.0	3.2	24.4	0.8	0.2
音響・映像機器の部分品	▲14.5	49.3	▲11.9	53.3	▲9.9	7.7	0.9	0.1
電気回路等の機器	30.6	38.2	5.9	43.4	48.2	21.8	4.1	0.8
輸送用機器	13.5	22.3	18.6	25.3	13.1	21.9	10.0	2.1
自動車	4.7	6.7	0.1	▲5.2	▲10.6	22.5	3.7	0.8
自動車の部分品	23.1	38.2	40.1	55.1	40.2	24.8	6.1	1.4
その他	▲12.5	▲2.3	2.0	31.9	22.9	20.7	14.5	2.8
科学光学機器	▲12.7	▲0.9	6.3	48.6	36.9	30.9	6.2	1.7

(出所) 財務省統計より大和総研作成